

# 資料編

# 目 次

## I 日本の観光を取り巻く状況

1. 国内人口・生産年齢人口	P22
2. 国内旅行人数の推移	P22
3. 一人当たりの国内宿泊観光旅行回数と宿泊数	P23
4. 観光消費額の推移	P23
5. 旅行参加形態	P24
6. 旅行の目的	P25
7. 訪日外国人旅行者について	
① 訪日外国人旅行者数	P26
② 訪日外国人延べ宿泊者数（国籍別）	P26
8. 外国人観光客の来訪目的	P27
9. 国籍別訪日外国人の平均泊数	P29
10. 明日の日本を支える観光ビジョン	P29
11. 日本版DMO登録制度の概要	P30
12. 住宅宿泊事業法の概要	P31

## II 滋賀県の観光を取り巻く状況

1. 滋賀県の人口	P32
2. 滋賀県観光入込客数	P32
3. 滋賀県観光消費額	P33
4. 滋賀県訪日外国人観光客	P33
5. 滋賀県客室稼働率	
① 客室稼働率の推移	P34
② 都道府県別客室稼働率	P34
③ 滋賀県の月別客室稼働率	P35
6. 滋賀県への来訪者について	
① 日帰り・宿泊の割合	P35
② 宿泊地	P36
③ 県内での宿泊数	P36
④ 来訪者の居住地	P36
⑤ 来訪者の年齢構成	P37
⑥ 同行者の種別	P37
⑦ 観光消費単価	P38
⑧ 来訪目的	P39

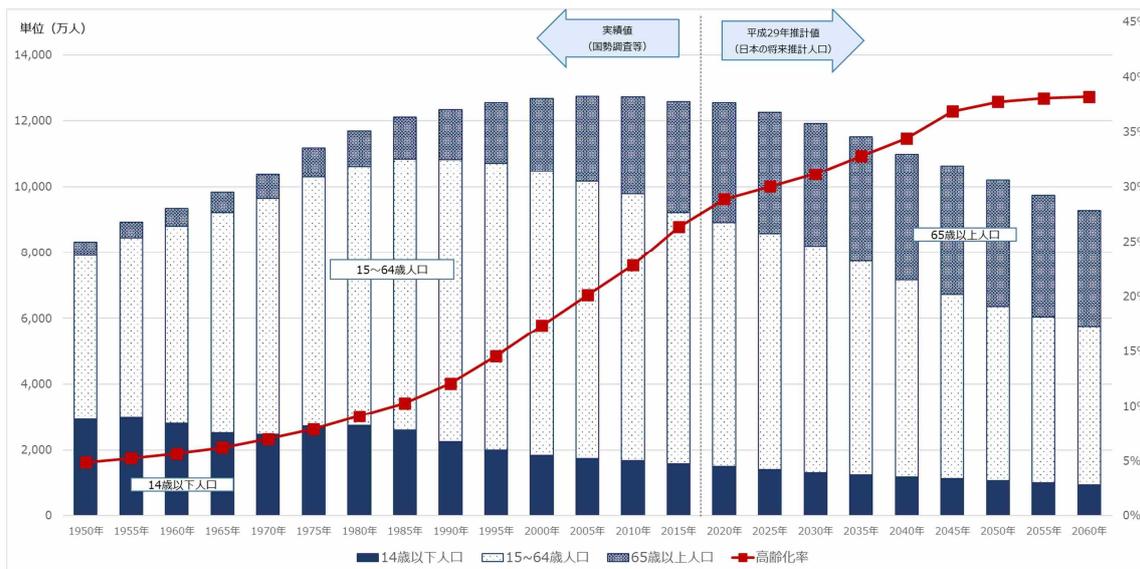
⑨ 満足度	P40
7. 地域ブランド調査	P40
8. 滋賀県来訪前後の滞在地	P40
9. 都道府県別自然公園面積割合	P41
10. 国指定の重要文化財（国宝含）指定件数	P41
11. 平均寿命	P42
12. 健康寿命	P42
13. ロケ誘致件数	P43
14. 都道府県別スポーツの年間行動者率	P43
15. 都道府県別国際会議開催件数	P44
16. 観光ボランティアガイド数	P44
17. 「びわ湖Free Wi-Fi」アクセスポイント設置数	P45
18. 県外からの交通環境	P45
19. J N T O認定外国人観光案内所数	P46
20. 通訳案内士の数	P47

## I 日本の観光を取り巻く状況

### 1. 国内人口・生産年齢人口

日本の総人口は平成 20 年をピークとして今後も減少していくと推計されています。特に年少人口(0~14 歳)や生産年齢人口(15~64 歳)の減少が著しいため、高齢者人口(65 歳以上)の相対的割合が上昇し続け、社会全体の高齢化がますます加速していくことになります。

図表 1 日本の人口推移と将来人口推計

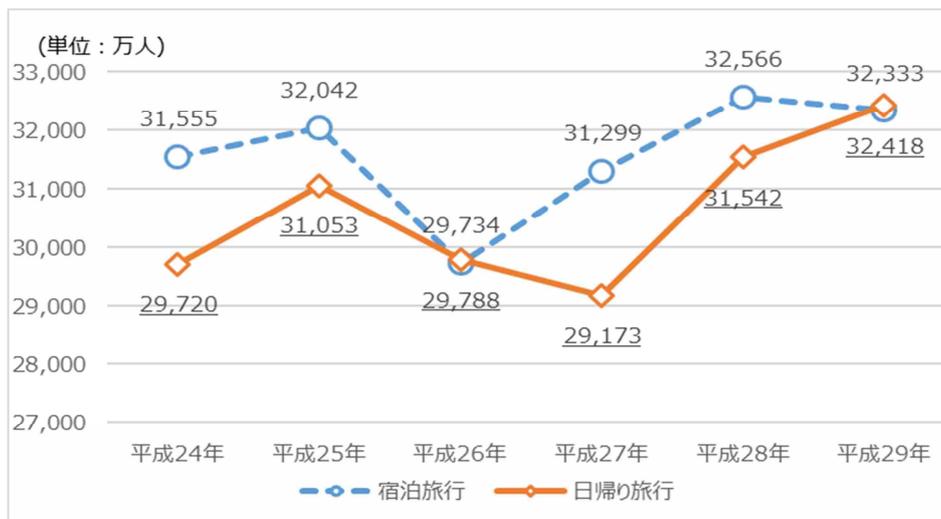


資料：2015年までは総務省「国勢調査」、2020以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）：出生中位・死亡中位推計」

### 2. 国内旅行人数の推移

国内旅行人数の推移をみると、宿泊は平成26年、日帰りは平成27年で下げ止まり、その後は上昇傾向になっています。

図表 2 日本人国内旅行延べ人数の推移（宿泊・日帰り）

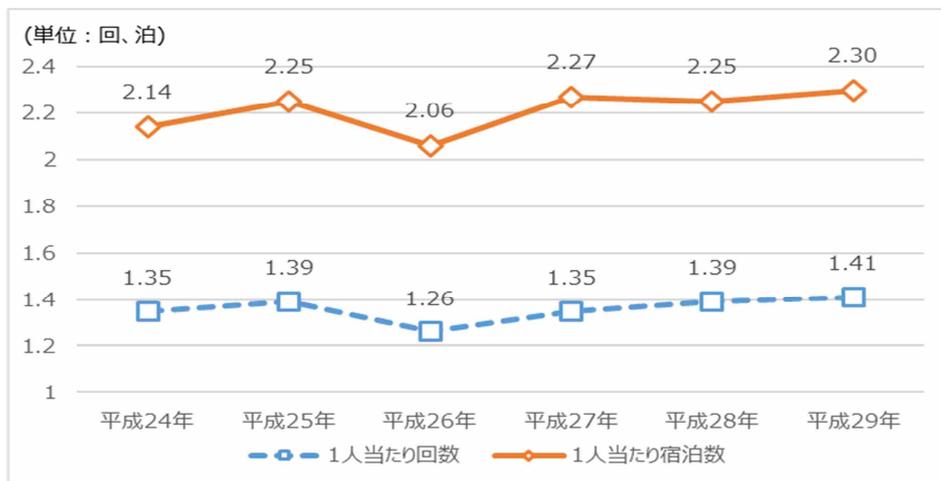


資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」より作成

### 3. 一人当たりの国内宿泊観光旅行回数と宿泊数

国民一人当たりの国内宿泊観光旅行回数および宿泊数は、平成26年に落ち込んだものの、その後は横ばい傾向となっています。

図表 3 一人当たりの国内宿泊観光旅行の回数と宿泊数の推移

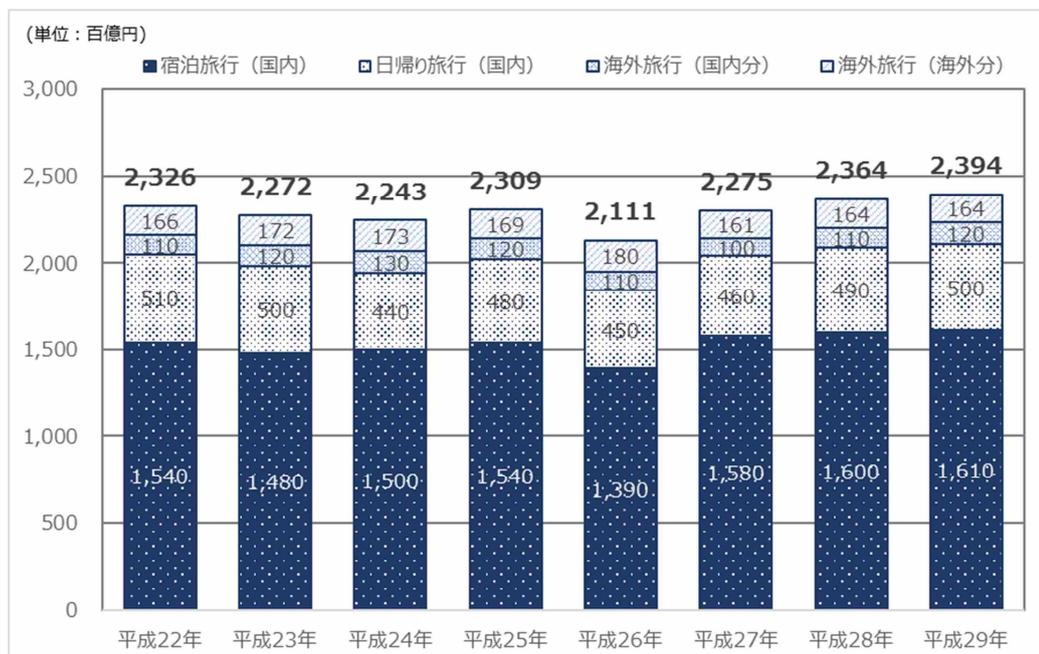


資料：観光庁「旅行観光消費動向調査」より作成

### 4. 観光消費額の推移

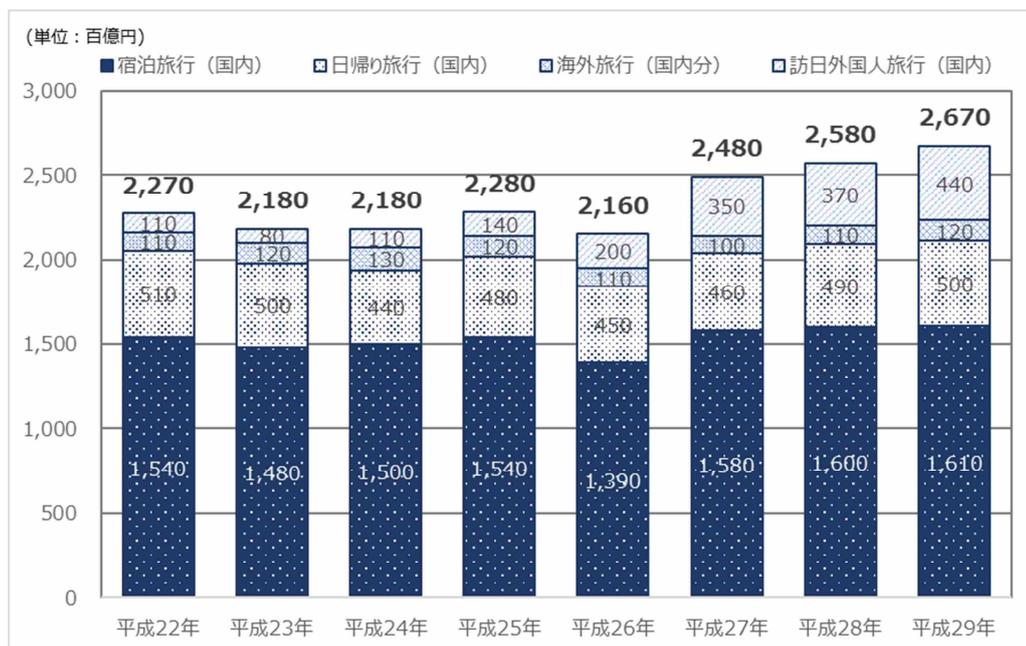
日本人の観光消費額は、平成22年と比較してほぼ横ばいとなっているのに対し、日本国内の観光消費額は、訪日外国人の消費額の拡大を背景に10%以上の伸びとなっています。

図表 4 日本人の観光消費額の推移



資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」より作成

図表 5 日本国内の観光消費額の推移

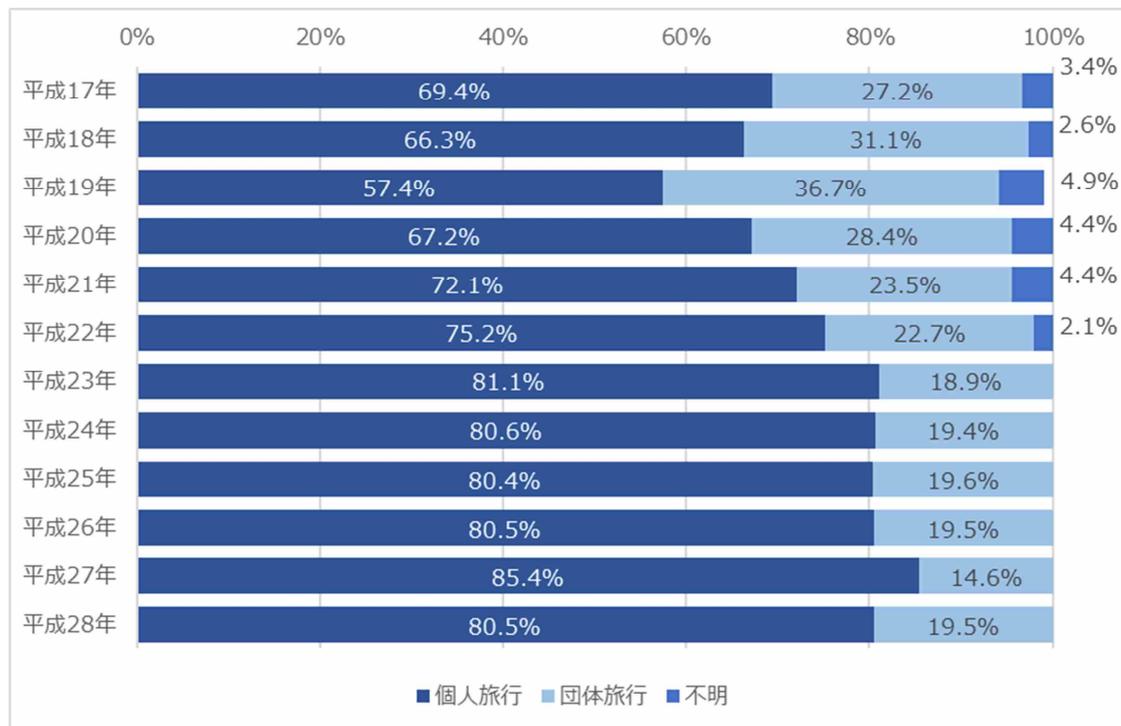


資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」及び「訪日外国人消費動向調査」より作成

## 5. 旅行参加形態

旅行参加形態をみると、平成19年以降、個人旅行の割合は増加傾向を示しており、平成28年は80.5%で、平成19年と比較して20%以上増加しています。

図表 6 旅行参加形態（団体旅行・個人旅行）割合の推移

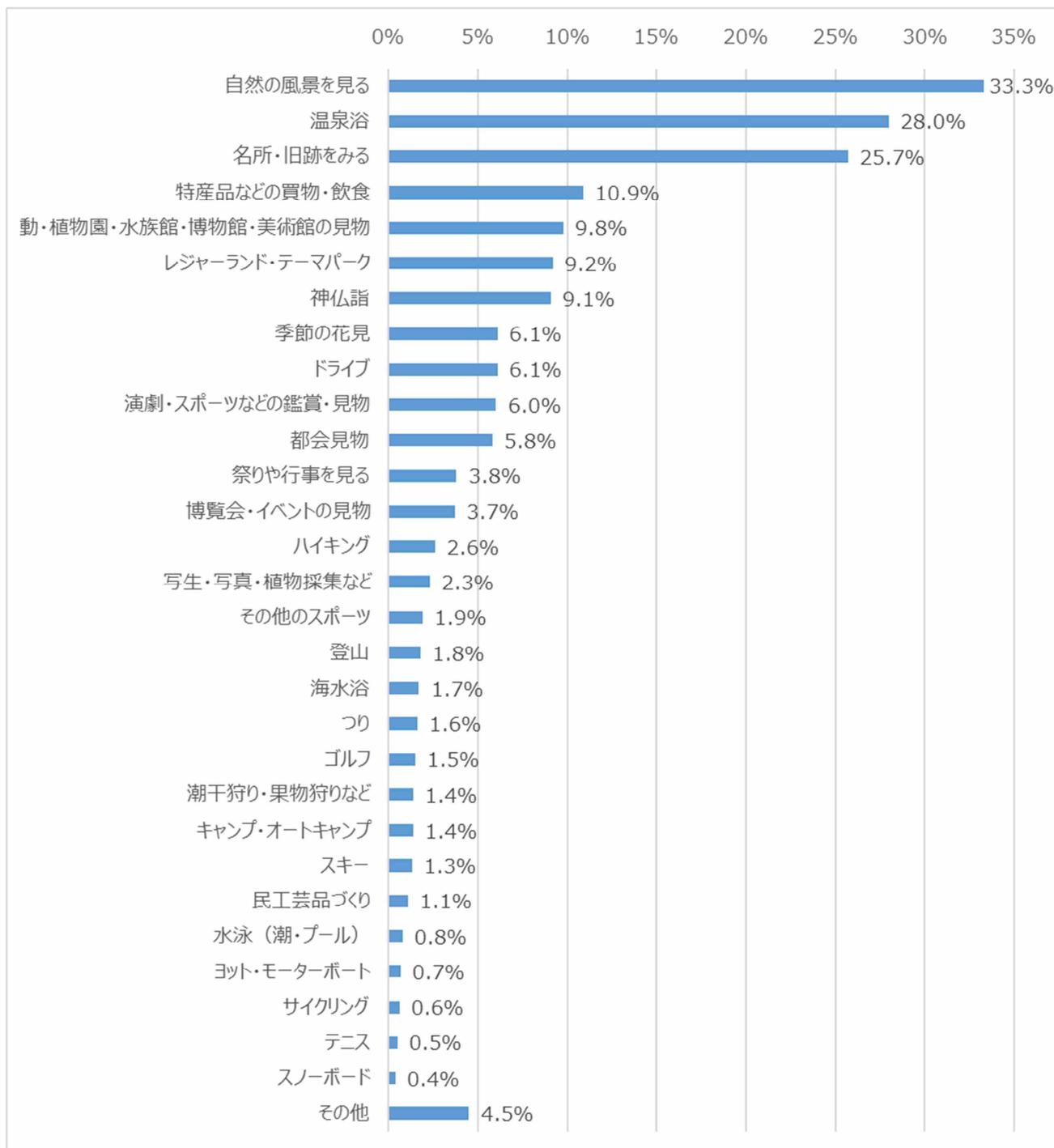


資料：（公社）日本観光振興協会「観光の実態と志向」より作成

## 6. 旅行の目的

旅行先でのすべての行動を回答してもらったところ、自然の風景を見る（33.3%）、温泉浴（28.0%）、名所・旧跡を見る（25.7%）と回答した人の割合が高くなっています。

図表 7 宿泊観光の旅先での行動



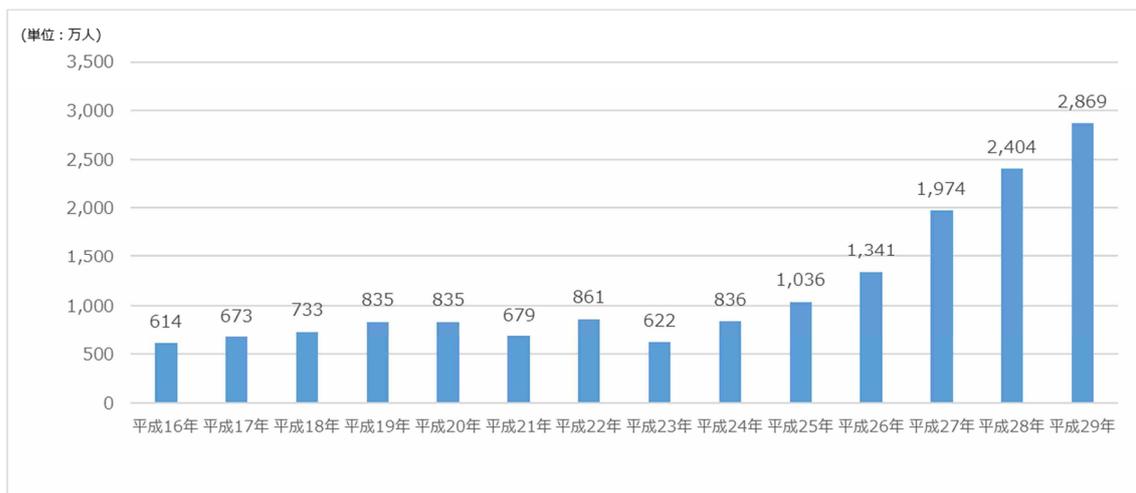
資料：（公社）日本観光振興協会「観光の実態と志向（平成29年版）」

## 7. 訪日外国人旅行者について

### ① 訪日外国人旅行者数

訪日外国人旅行者数は、国をあげた誘客により徐々に増加しました。その後リーマンショックや東日本大震災等の要因により一時期減少したものの、平成27年には訪日外国人旅行者が出国者数を超え、平成29年には2,869万人と過去最高を記録しました。

図表 8 訪日外国人旅行者数の推移

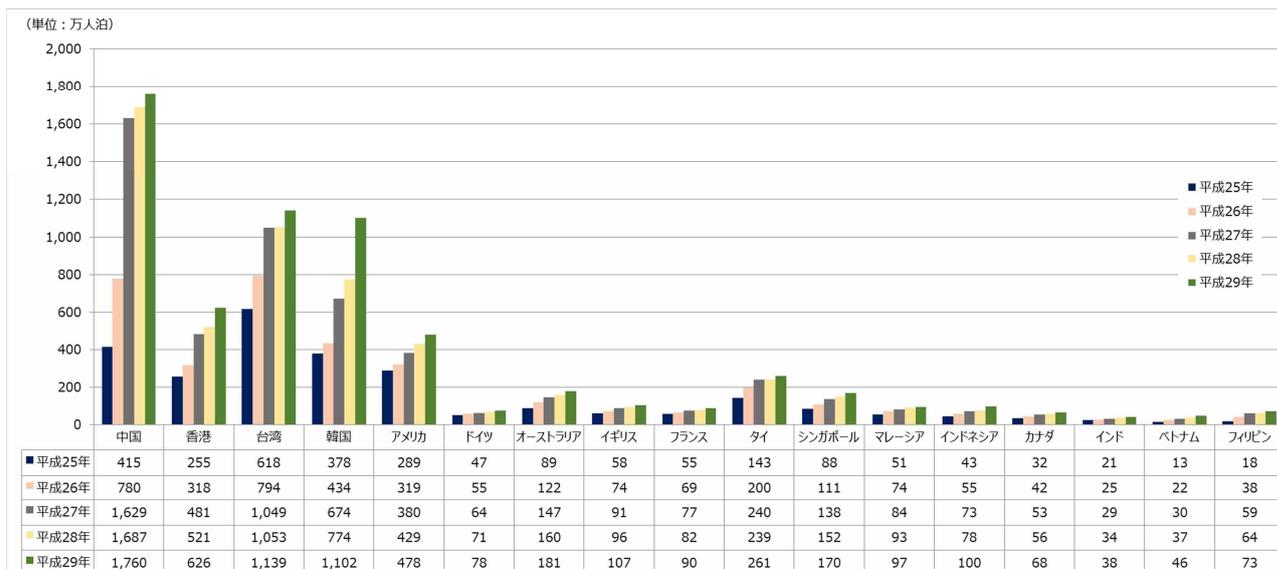


資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客統計」より作成

### ② 訪日外国人延べ宿泊者数（国籍別）

訪日外国人延べ宿泊客数の国籍別推移をみると、平成29年の宿泊者数は、1位中国、2位台湾、3位韓国、4位香港、5位アメリカの順となっています。前年と比較した増加率は、1位韓国、2位インドネシア、3位ベトナムの順となっています。

図表 9 訪日外国人延べ宿泊者数（国籍別）の推移

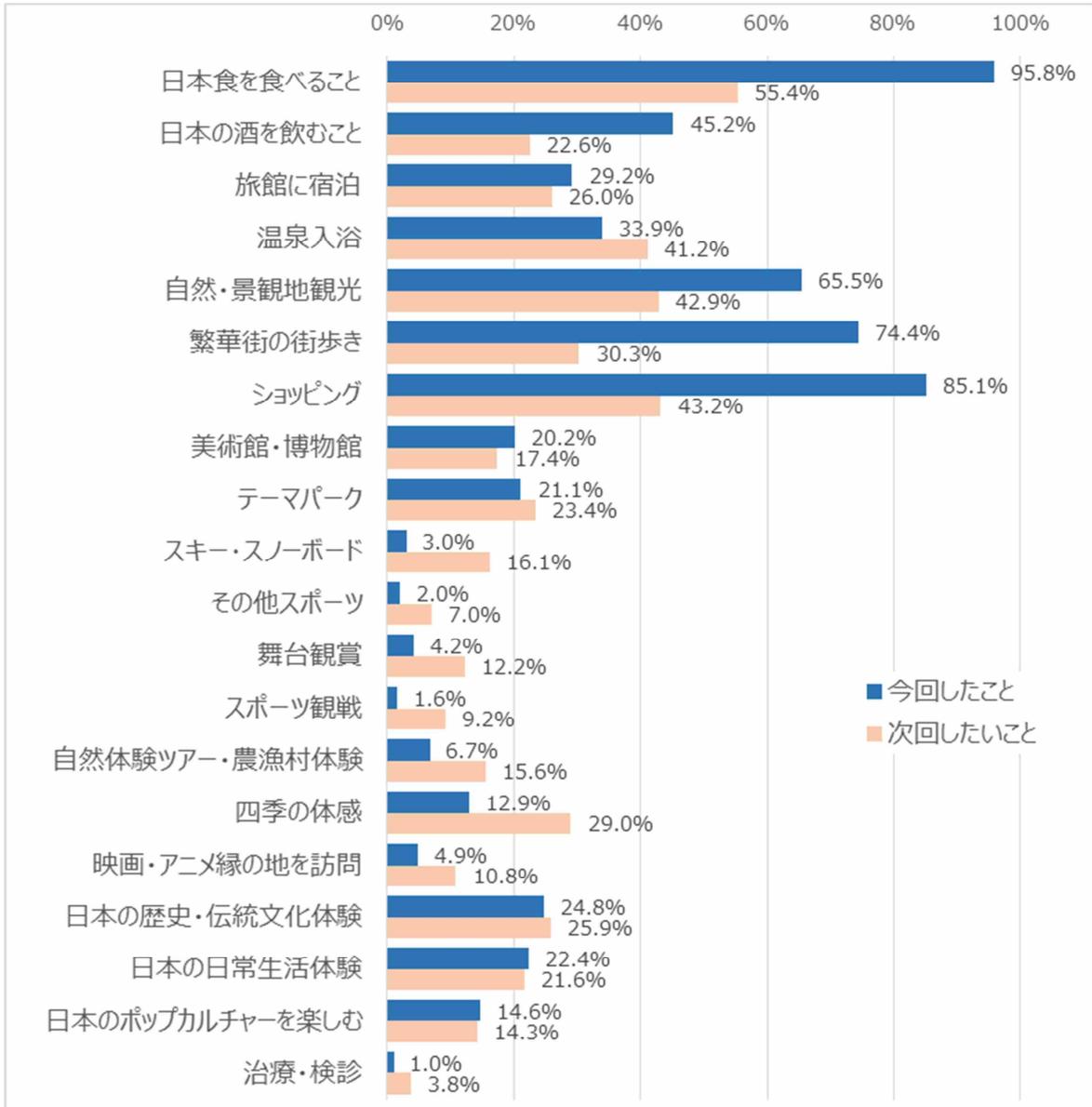


資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

## 8. 外国人観光客の来訪目的

外国人旅行客が来訪して実際に体験したこととして、日本食、ショッピング、繁華街の街歩き、自然・景観地観光と回答した人の割合が高くなっています。

図表 10 外国人観光客の来訪目的(今回したことと次回したいこと)(複数回答)



資料：観光庁「訪日外国人の消費動向 平成29年年次報告書」

図表 11 地域別来訪目的（次回したいこと順位の比較）

「次回したいこと」について地域別の順位をみると、「日本の歴史・伝統文化体験」はヨーロッパ、北米、オーストラリアで全体より順位が高くなっており、「スキー・スノーボード」は、東南アジア、オーストラリアで全体より順位が高くなっています。

順位	全体	東アジア計	東南アジア計
1位	日本食を食べること	日本食を食べること	日本食を食べること
2位	ショッピング	ショッピング	ショッピング
3位	自然・景勝地観光	温泉入浴	自然・景勝地観光
4位	温泉入浴	自然・景勝地観光	四季の体感（花見・紅葉・雪等）
5位	繁華街の街歩き	繁華街の街歩き	繁華街の街歩き
6位	四季の体感（花見・紅葉・雪等）	テーマパーク	温泉入浴
7位	旅館に宿泊	旅館に宿泊	テーマパーク
8位	テーマパーク	四季の体感（花見・紅葉・雪等）	日本の歴史・伝統文化体験
9位	日本の歴史・伝統文化体験	日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）	旅館に宿泊
10位	日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）	日本の歴史・伝統文化体験	日本の日常生活体験
11位	日本の日常生活体験	日本の日常生活体験	美術館・博物館
12位	美術館・博物館	日本のポップカルチャーを楽しむ	スキー・スノーボード
13位	スキー・スノーボード	美術館・博物館	自然体験ツアー・農漁村体験
14位	自然体験ツアー・農漁村体験	スキー・スノーボード	日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）
15位	日本のポップカルチャーを楽しむ	自然体験ツアー・農漁村体験	舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）
16位	舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）	映画・アニメ縁の地を訪問	映画・アニメ縁の地を訪問
17位	映画・アニメ縁の地を訪問	舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）	日本のポップカルチャーを楽しむ
18位	スポーツ観戦（相撲・サッカー等）	その他スポーツ（ゴルフ等）	スポーツ観戦（相撲・サッカー等）
19位	その他スポーツ（ゴルフ等）	スポーツ観戦（相撲・サッカー等）	その他スポーツ（ゴルフ等）
20位	治療・健診	治療・健診	治療・健診

順位	全体	ヨーロッパ計	北米計	オーストラリア
1位	日本食を食べること	日本食を食べること	日本食を食べること	日本食を食べること
2位	ショッピング	自然・景勝地観光	自然・景勝地観光	自然・景勝地観光
3位	自然・景勝地観光	温泉入浴	日本の歴史・伝統文化体験	日本の歴史・伝統文化体験
4位	温泉入浴	日本の歴史・伝統文化体験	温泉入浴	ショッピング
5位	繁華街の街歩き	四季の体感（花見・紅葉・雪等）	四季の体感（花見・紅葉・雪等）	温泉入浴
6位	四季の体感（花見・紅葉・雪等）	旅館に宿泊	ショッピング	日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）
7位	旅館に宿泊	日本の日常生活体験	日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）	四季の体感（花見・紅葉・雪等）
8位	テーマパーク	ショッピング	日本の日常生活体験	繁華街の街歩き
9位	日本の歴史・伝統文化体験	美術館・博物館	旅館に宿泊	旅館に宿泊
10位	日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）	日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）	美術館・博物館	日本の日常生活体験
11位	日本の日常生活体験	繁華街の街歩き	繁華街の街歩き	美術館・博物館
12位	美術館・博物館	舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）	舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）	スキー・スノーボード
13位	スキー・スノーボード	自然体験ツアー・農漁村体験	自然体験ツアー・農漁村体験	スポーツ観戦（相撲・サッカー等）
14位	自然体験ツアー・農漁村体験	日本のポップカルチャーを楽しむ	日本のポップカルチャーを楽しむ	舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）
15位	日本のポップカルチャーを楽しむ	スポーツ観戦（相撲・サッカー等）	スポーツ観戦（相撲・サッカー等）	自然体験ツアー・農漁村体験
16位	舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）	テーマパーク	テーマパーク	テーマパーク
17位	映画・アニメ縁の地を訪問	映画・アニメ縁の地を訪問	スキー・スノーボード	日本のポップカルチャーを楽しむ
18位	スポーツ観戦（相撲・サッカー等）	スキー・スノーボード	映画・アニメ縁の地を訪問	映画・アニメ縁の地を訪問
19位	その他スポーツ（ゴルフ等）	その他スポーツ（ゴルフ等）	その他スポーツ（ゴルフ等）	その他スポーツ（ゴルフ等）
20位	治療・健診	治療・健診	治療・健診	治療・健診

資料：観光庁「訪日外国人の消費動向 平成29年次報告書」

### 9. 国籍別訪日外国人の平均泊数

訪日客のうち、平均で10日以上滞在する国は9カ国ある一方、訪日客数の多い台湾、香港、韓国の観光客の滞在日数は比較的短くなっています。

図表 12 国籍別訪日外国人の平均泊数

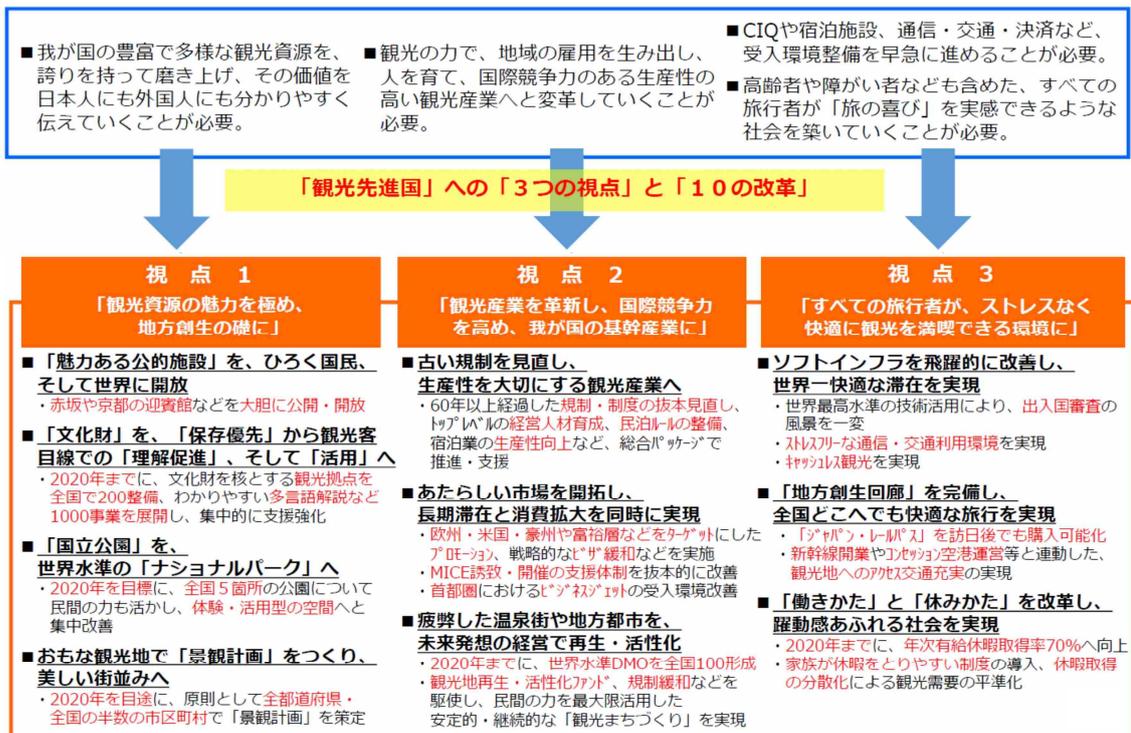
順位	国	平均泊数	順位	国	平均泊数
1位	ドイツ	14.1	12位	シンガポール	7.9
2位	フランス	13.8	13位	インドネシア	7.0
3位	スペイン	13.0	14位	マレーシア	7.0
4位	オーストラリア	12.8	15位	フィリピン	6.7
5位	英国	12.7	16位	中国	6.1
6位	カナダ	12.4	17位	タイ	5.8
7位	イタリア	11.9	18位	香港	5.6
8位	ロシア	10.3	19位	台湾	5.1
9位	米国	10.0	20位	韓国	3.2
10位	インド	9.8			
11位	ベトナム	8.0		全体	5.8

資料：観光庁 「平成29年訪日外国人消費動向調査」

### 10. 明日の日本を支える観光ビジョン

政府は、「観光先進国」への新たな国づくりに向けて、「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、2020年、2030年の数値目標を設定しています。

図表 13 明日の日本を支える観光ビジョン



【数値目標】

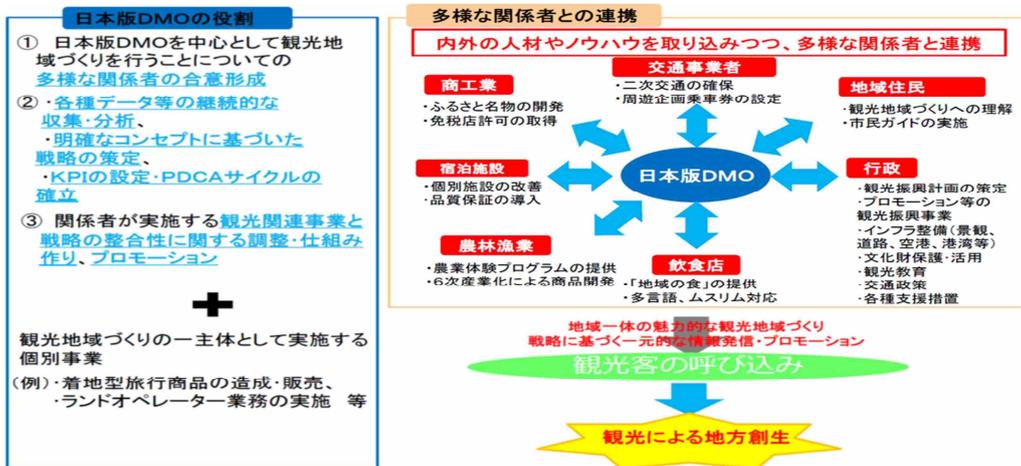
訪日外国人旅行者数	2020年： <b>4,000万人</b> (2015年の約2倍)	2030年： <b>6,000万人</b> (2015年の約3倍)
訪日外国人旅行消費額	2020年： <b>8兆円</b> (2015年の2倍超)	2030年： <b>15兆円</b> (2015年の4倍超)
地方部での外国人延べ宿泊者数	2020年： <b>7,000万人泊</b> (2015年の3倍弱)	2030年： <b>1億3,000万人泊</b> (2015年の5倍超)
外国人リピーター数	2020年： <b>2,400万人</b> (2015年の約2倍)	2030年： <b>3,600万人</b> (2015年の約3倍)
日本人国内旅行消費額	2020年： <b>21兆円</b> (最近5年間の平均から約5%増)	2030年： <b>22兆円</b> (最近5年間の平均から約10%増)

資料：観光庁「明日の日本を支える観光ビジョン」

11. 日本版DMO登録制度の概要

人口減少・少子高齢化に直面する我が国の最重要課題である「地方創生」において、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりが重要となってきます。その舵取り役として、関係者と協働しながら戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人である日本版DMOの形成・確立を支援するため、観光庁において日本版DMOおよび日本版DMOの候補となりうる法人(日本版DMO候補法人)を登録する制度が創設されました。観光庁では2020年に世界水準のDMOを全国に100組織形成することを目標に取り組んでいます。

図表 14 日本版DMOの概要



資料：観光庁「日本版DMOの概要」

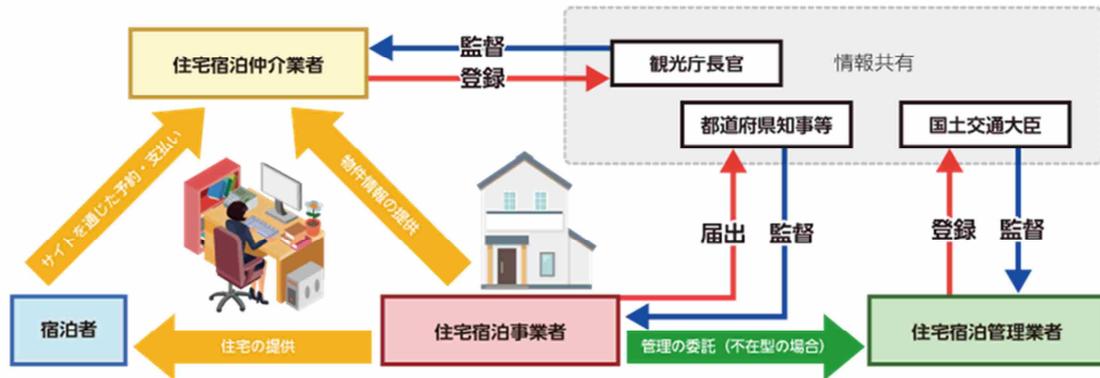
<p><b>日本版DMO登録要件</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本版DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成</li> <li>データの継続的な収集、戦略の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立</li> <li>関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーションの実施</li> <li>法人格の取得、責任者の明確化、データ収集・分析等の専門人材の確保</li> <li>安定的な運営資金の確保</li> </ol>
---

資料：観光庁「日本版DMO登録手続きの流れ」

## 12. 住宅宿泊事業法の概要

住宅宿泊事業法では、日本でも急速に普及する民泊サービスについて、多様化する宿泊ニーズ等への対応や公衆衛生の確保、地域住民等とのトラブル防止等のため、住宅宿泊事業者の都道府県知事への届出、住宅宿泊仲介業者の観光庁長官への登録、住宅宿泊管理業者への国土交通大臣への登録を義務付けています。

図表 15 住宅宿泊事業法の概要



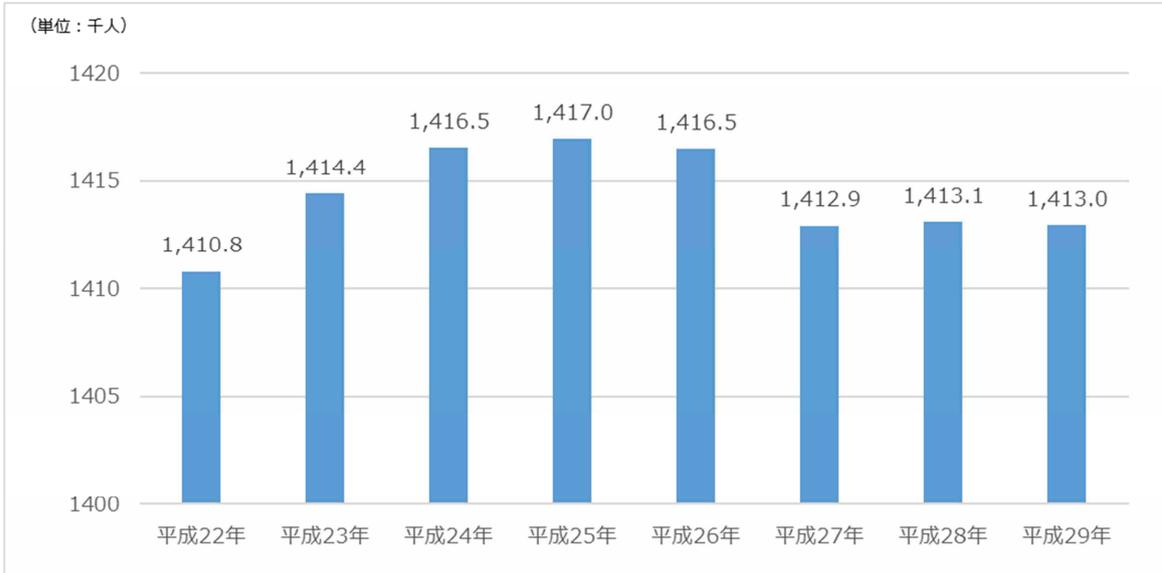
資料：観光庁「住宅宿泊事業法の概要」

## II 滋賀県の観光を取り巻く状況

### 1. 滋賀県の人口

滋賀県の人口は、平成 25 年ごろをピークに、減少局面にあります。

図表 16 滋賀県の人口推移

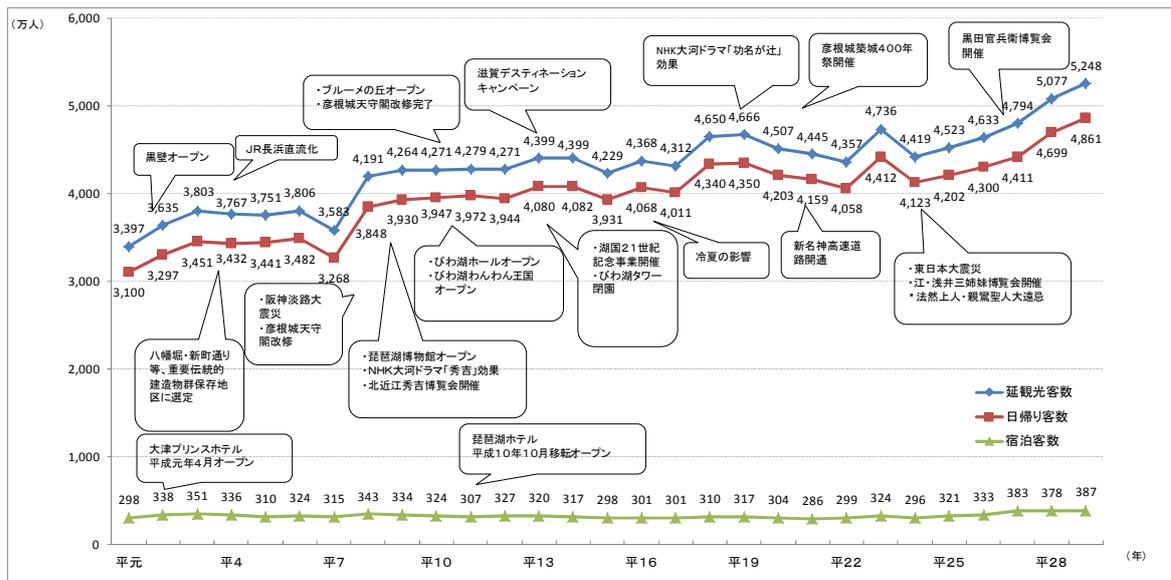


資料：総務省「国勢調査」、滋賀県「滋賀県推計人口年報」より作成

### 2. 滋賀県観光入込客数

滋賀県を訪れる観光客数は、平成 23 年以降増加しており、平成 29 年には 5,248 万人と過去最高を記録しました。宿泊者数は 300 万人前後で推移してきましたが、平成 27 年には 383 万人と大幅に増加し、その後も同水準で推移しています。

図表 17 滋賀県観光入込客数の推移

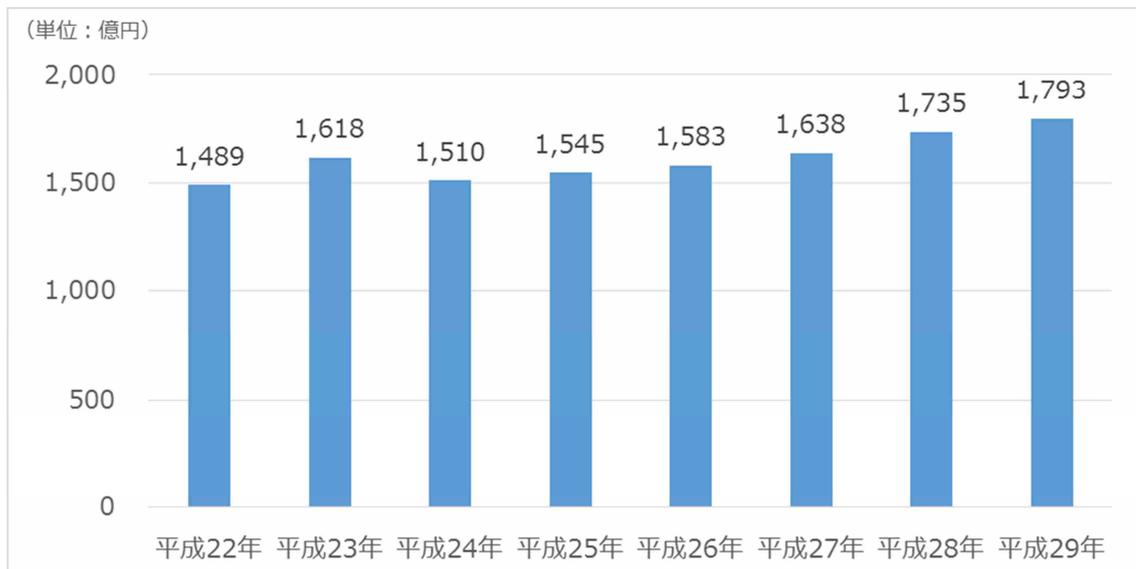


資料：滋賀県商工観光労働部観光交流局「滋賀県観光入込客統計調査」

### 滋賀県観光消費額

滋賀県の観光消費額の推移をみると、平成24年以降増加傾向となっています。

図表 18 滋賀県観光消費額の推移

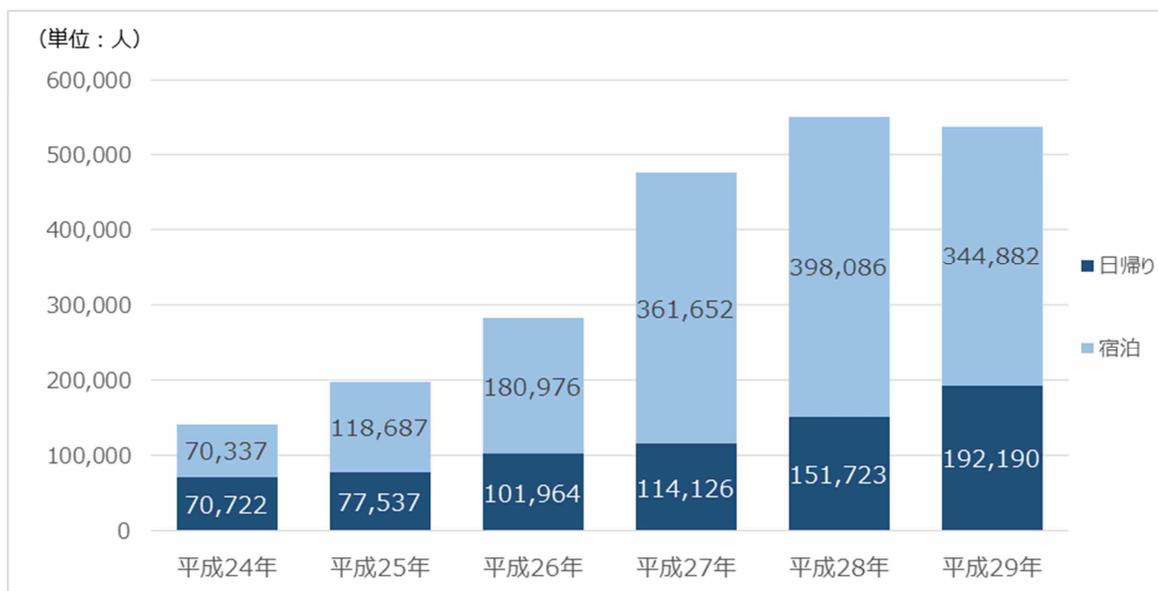


資料：滋賀県商工観光労働部観光交流局「滋賀県観光入込客統計調査」

### 3. 滋賀県訪日外国人観光客

滋賀県の訪日外国人観光客数は、年々増加しており、特に平成27年に大きく増加しました。平成28年と平成24年を比較すると、約4倍になっています。

図表 19 滋賀県訪日外国人観光客数の推移



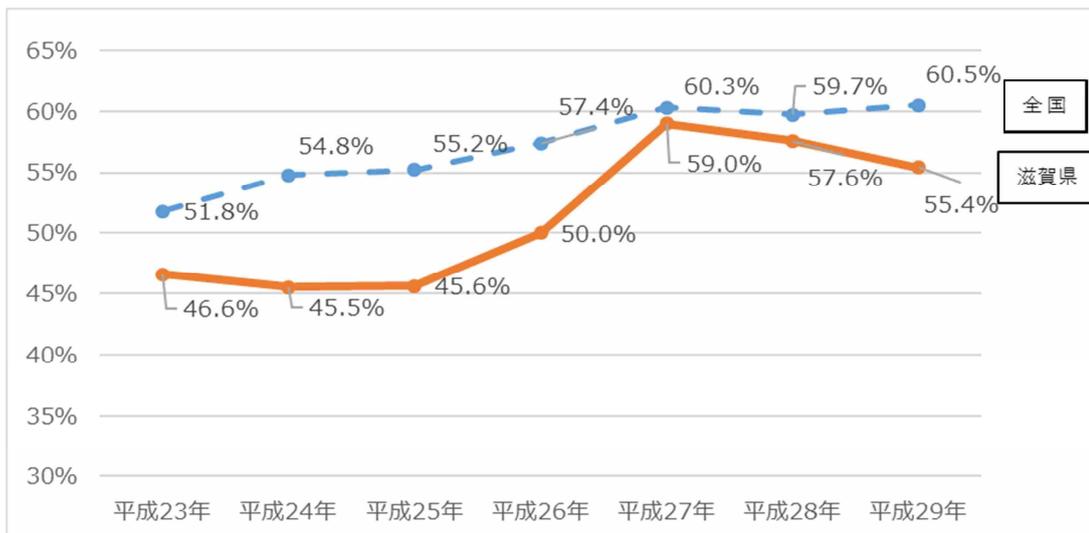
資料：滋賀県商工観光労働部観光交流局「滋賀県観光入込客統計調査」より作成

#### 4. 滋賀県客室稼働率

##### ① 客室稼働率の推移

滋賀県の客室稼働率については、全国平均と比べてやや低くなっています。年ごとの推移では、平成24年から平成27年までは上昇傾向でしたが、平成28年、平成29年は下降しています。

図表 20 全国と滋賀県の客室稼働率の推移（年計）

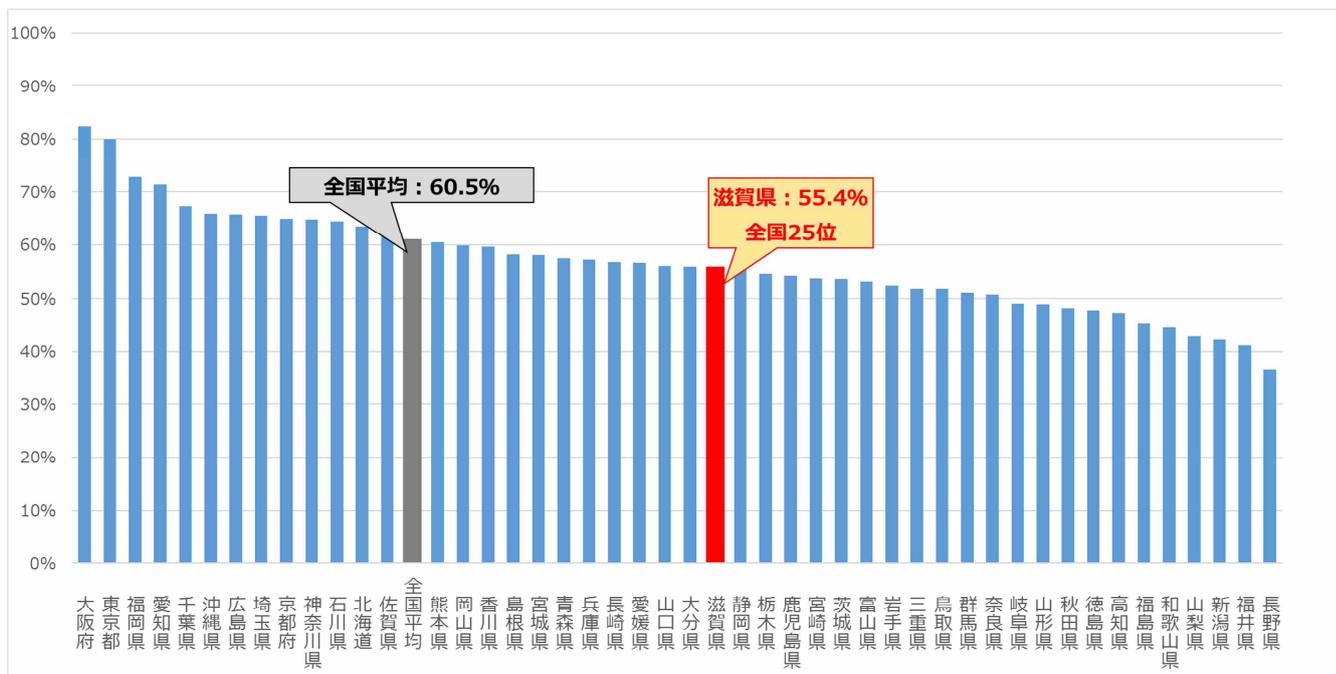


資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

##### ② 都道府県別客室稼働率

平成29年の客室稼働率は55.4%で、全国25位となっています。

図表 21 都道府県別客室稼働率

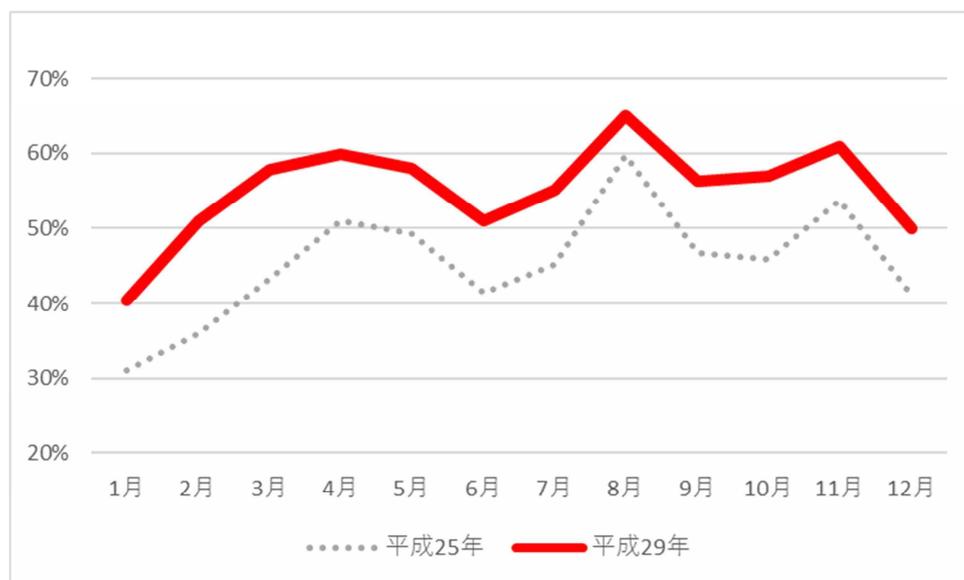


資料：観光庁「平成29年宿泊旅行統計調査」より作成

### ③ 滋賀県の月別客室稼働率

月別の客室稼働率をみると、平成 29 年では、稼働率が 60%を超えているのは 8 月、11 月で、50%未満となっているのは 1 月と 12 月となっています。2 月も 51%となっており、冬場の稼働率が低い傾向にあることがわかります。

図表 22 滋賀県の月別客室稼働率



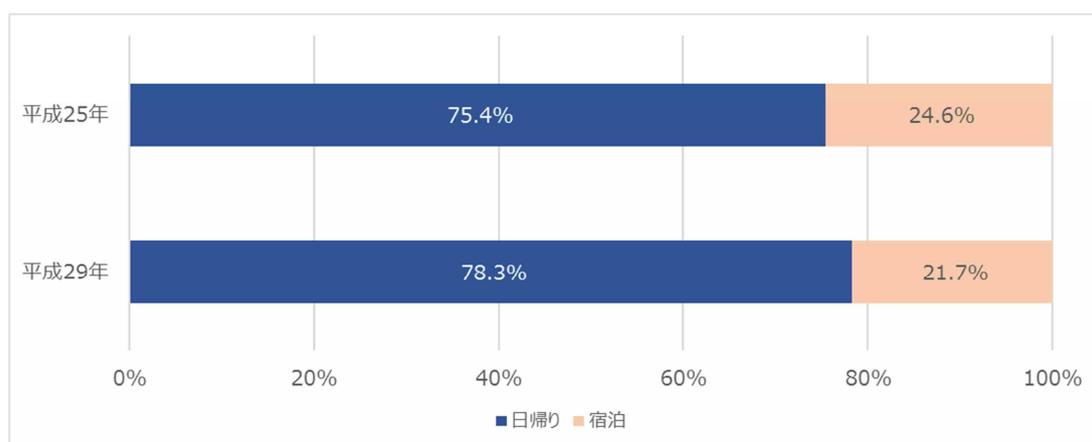
資料：観光庁「宿泊旅行統計調査（推移表）」より作成

## 6. 滋賀県への来訪者について

### ① 日帰り・宿泊の割合

滋賀県への来訪者の日帰り・宿泊の割合をみると、平成 29 年は日帰り 78.3%、宿泊 21.7%で、7 割以上が日帰りとなっています。（宿泊客の中には県外で宿泊した人も含む）

図表 23 日帰り・宿泊の割合

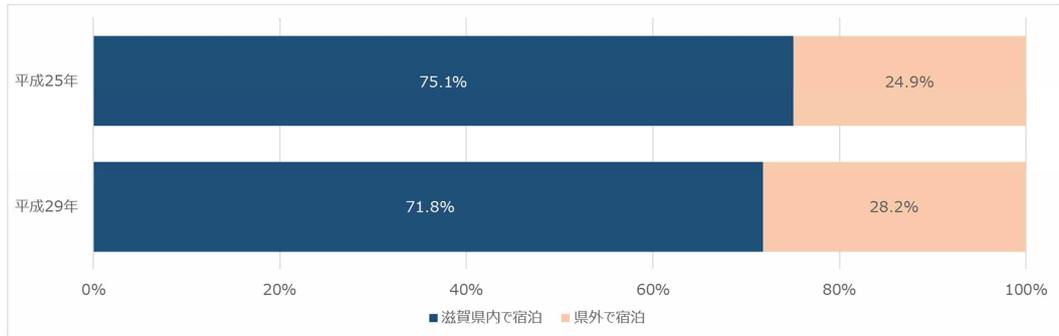


資料：滋賀県商工観光労働部観光交流局「滋賀県観光統計調査」より作成

## ② 宿泊地

宿泊を伴う観光で滋賀県を訪れた人の宿泊地は、平成 29 年は滋賀県内が 71.8%、県外が 28.2%となっており、平成 25 年と比較して県内宿泊の割合は低下しています。

図表 24 宿泊地

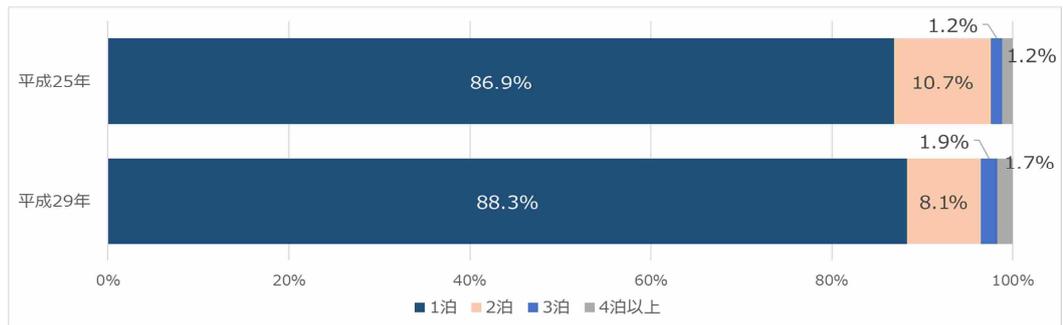


資料:滋賀県商工観光労働部観光交流局「滋賀県観光統計調査」より作成

## ③ 県内での宿泊数

県内での宿泊数は1泊が8割以上を占めており、平成 25 年と比較してやや比率が増加しています。

図表 25 県内での宿泊数

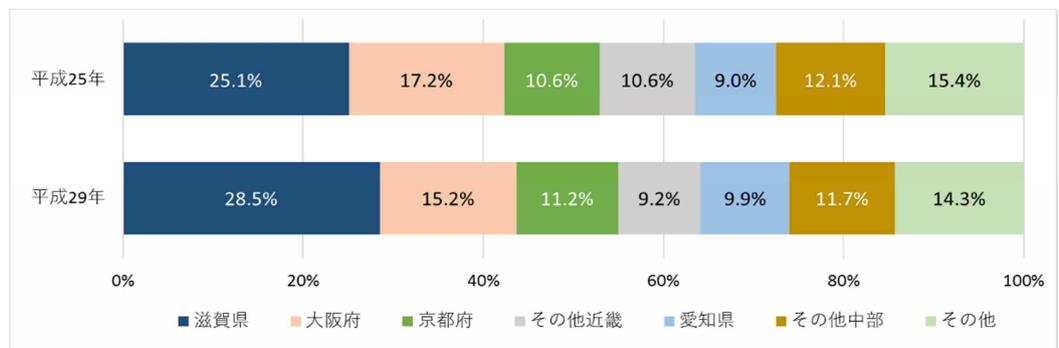


資料:滋賀県商工観光労働部観光交流局「滋賀県観光統計調査」より作成

## ④ 来訪者の居住地

観光客の居住地内訳の 2~3 割が県内居住者、残る約 6 割が大阪府、京都府などの近畿からと、愛知県、三重県、岐阜県などの中部からの観光客となっており、近隣府県からの来訪が主となっています。

図表 26 来訪者の居住地

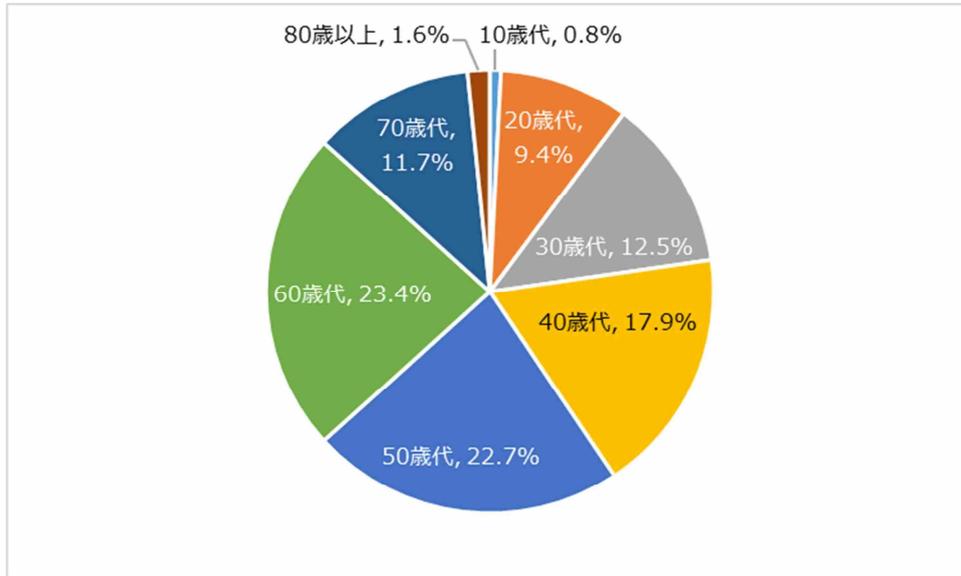


資料:滋賀県商工観光労働部観光交流局「滋賀県観光統計調査」より作成

⑤ 来訪者の年齢構成

来訪者の年齢構成を年代別で見ると、60歳代が23.4%と最も多く、続いて50歳代が22.7%となっており、50歳代以上が約6割を占めています。

図表 27 来訪者の年齢構成

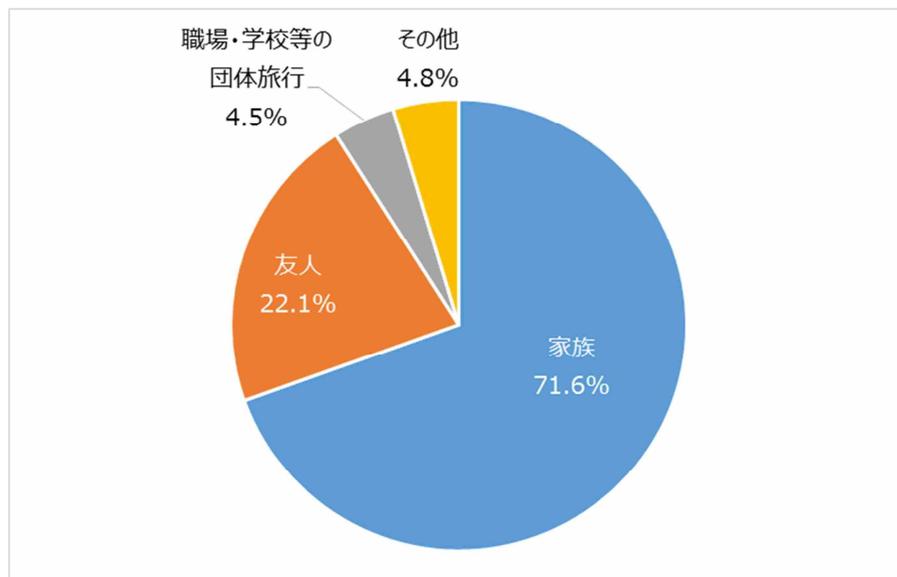


資料：滋賀県商工観光労働部観光交流局「平成29年度滋賀県観光統計調査」より作成

⑥ 同行者の種別

2人以上の場合の旅行の同行者の種別は、家族が7割以上を占めています。

図表 28 同行者の種別



資料：滋賀県商工観光労働部観光交流局「平成29年度滋賀県観光統計調査」より作成

⑦ 観光消費単価

平成 29 年の一人当たりの旅行費用の県内消費額の合計は、日帰りが 5,603 円、宿泊が 26,687 円と、宿泊観光客は日帰り観光客の約 5 倍の支出をしています。

図表 29-1 観光消費単価（日帰り）



図表 29-2 観光消費単価（宿泊）

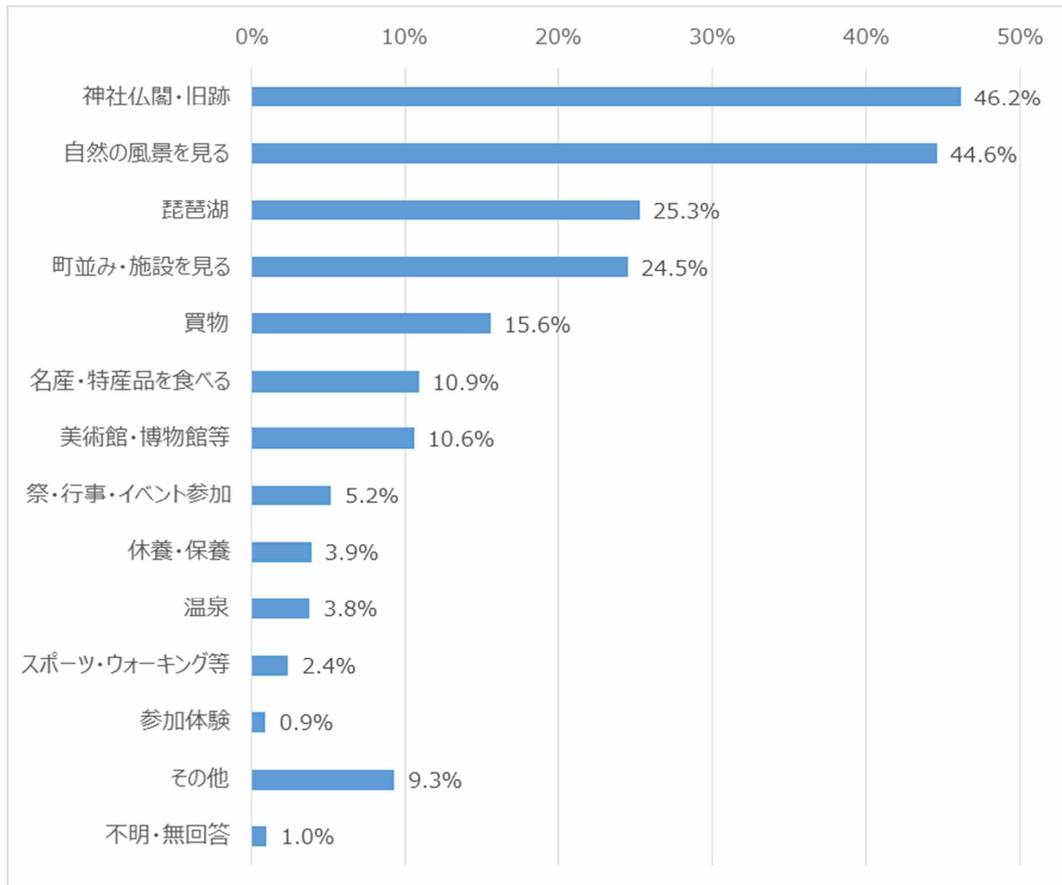


資料：滋賀県商工観光労働部観光交流局「滋賀県観光統計調査」より作成

⑧ 来訪目的

主な来訪目的は、神社仏閣・旧跡(46.2%)、自然の風景を見る(44.6%)、琵琶湖(25.3%)  
町並み・施設を見る(24.5%)などとなっています。

図表 30 来訪目的（複数回答）



資料: 滋賀県商工労働部観光交流局「平成 29 年滋賀県観光統計調査」

図表 31 訪問した滋賀のスポット（複数回答）

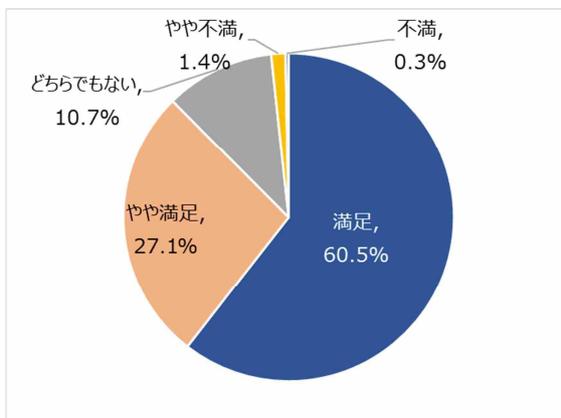
順位	内容	回答数	%	順位	内容	回答数	%
1位	近江牛	323	36.3	10位	その他	96	10.8
2位	彦根城	310	34.8	12位	近江米	90	10.1
3位	比叡山延暦寺	189	21.2	13位	多賀大社	87	9.8
4位	石山寺	175	19.7	13位	三井寺	87	9.8
5位	長浜城（博物館）	123	13.8	15位	安土城址	81	9.1
6位	比叡山ドライブウェイ	119	13.4	16位	信楽・陶器の町	74	8.3
7位	黒壁ガラス館	108	12.1	17位	日吉大社	73	8.2
8位	竜王アウトレット	102	11.5	18位	長濱オルゴール堂	72	8.1
9位	琵琶湖クルーズ	100	11.2	19位	伊吹山	71	8.0
10位	鯖寿司	96	10.8	19位	竹生島	71	8.0

資料: 滋賀県商工労働部観光交流局「平成 27 年滋賀県観光マーケティング分析結果報告書」

### ⑨ 満足度

滋賀県観光の全体的な満足度をみると、「満足」「やや満足」を合わせた割合は、8割以上を占めています。

図表 32 満足度



資料: 滋賀県商工観光労働部観光交流局「平成29年滋賀県観光統計調査」より作成

## 7. 地域ブランド調査

「地域ブランド調査」は、全国約3万人の消費者からの回答を集めて毎年実施する調査で、各都道府県の認知度やイメージ、観光・産品購入の意欲など多岐にわたって調査しています。

平成30年における滋賀県の主な全国順位をみると、認知度、観光意欲度、食品想起率では前年と比較して順位が上昇している一方、魅力度、情報接触度、産品購入意欲度では順位が下落しています。

図表 33 主な指標の推移（地域ブランド調査）

	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	スコア	全国順位								
認知度	43.0	25位	43.7	32位	44.4	32位	46.4	26位	48.4	20位
魅力度	11.4	39位	10.0	41位	10.9	33位	13.4	28位	13.9	38位
情報接触度	29.2	37位	32.6	37位	33.5	29位	33.1	32位	34.0	33位
観光意欲度	30.1	41位	29.2	40位	28.3	33位	29.3	38位	29.1	37位
産品購入意欲度			33.0	40位	29.5	40位	30.7	38位	31.4	40位
食品想起率			5.2	43位	4.7	43位	5.9	42位	8.8	41位

資料: ブランド総合研究所「地域ブランド調査」より作成

## 8. 滋賀県来訪前後の滞在地

訪日外国人の滋賀県訪問前後の滞在地をみると、訪問前も訪問後も上位3府県は近畿圏（京都府、大阪府、兵庫県）となっています。

図表 34 滋賀県来訪前後の滞在地（訪日外国人）

滋賀県の滞在直前に滞在した地域			滋賀県の滞在直後に滞在した地域		
1位	京都府	30.3%	1位	京都府	23.5%
2位	大阪府	22.4%	2位	大阪府	18.7%
3位	兵庫県	9.1%	3位	兵庫県	18.2%
4位	滋賀県	5.6%	4位	岐阜県	10.4%
5位	東京都	5.3%	5位	愛知県	6.9%

※1回の旅行で、複数回同一都道府県を訪問したサンプル情報が得られた場合、重複カウントして集計。

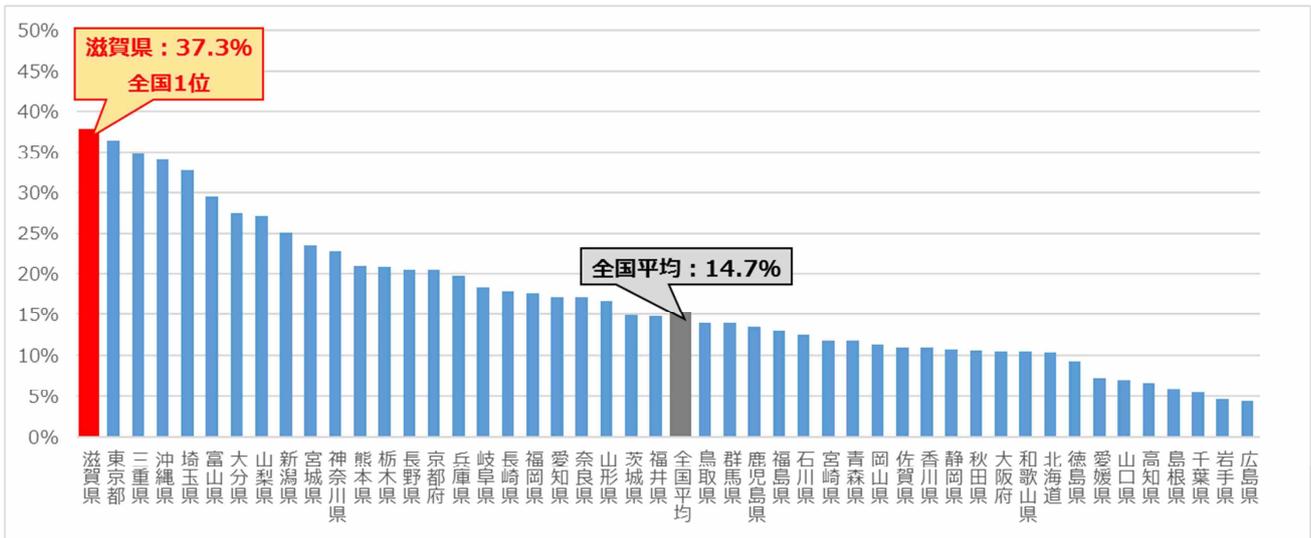
※同一都道府県内の流動も集計対象とする。

資料: RESAS「外国人移動相関分析」

### 9. 都道府県別自然公園面積割合

平成 29 年 3 月 31 日現在の滋賀県の自然公園面積割合は 37.3%で、全国 1 位となっています。

図表 35 都道府県別自然公園面積割合



資料：環境省 環境統計集 「都道府県別自然公園面積」(平成 29 年 3 月 31 日現在)

### 10. 国指定の重要文化財(国宝含) 指定件数

平成 30 年 9 月 1 日現在、滋賀県の国指定の重要文化財(国宝含)指定件数は 813 件で、全国 4 位となっています。

図表 36 国指定の重要文化財(国宝含) 指定件数

順位	都道府県	国宝・重要文化財総数
1位	東京都	2,729件
2位	京都府	2,144件
3位	奈良県	1,311件
4位	<b>滋賀県</b>	<b>813件</b>
5位	大阪府	664件
6位	兵庫県	462件
7位	和歌山県	384件
8位	神奈川県	341件
9位	愛知県	322件
10位	静岡県	219件
	全国平均	275件

資料：文化庁「文化財指定等の件数」(平成 30 年 9 月 1 日現在)

### 11. 平均寿命

東京大学大学院の研究では、滋賀県の平均寿命は、男性 81.70 歳、女性 87.70 歳で、男女ともに全国1位となっています。

図表 37 都道府県別平均寿命

順位	男性		順位	女性	
	都道府県	平均寿命		都道府県	平均寿命
1位	滋賀県	81.70歳	1位	滋賀県	87.70歳
2位	長野県	81.20歳	2位	福井県	87.30歳
3位	福井県	81.00歳	3位	奈良県	87.20歳
4位	奈良県	80.90歳	4位	長野県	87.10歳
5位	石川県	80.70歳	4位	大分県	87.10歳
6位	京都府	80.60歳	6位	京都府	87.00歳
7位	宮城県	80.50歳	6位	島根県	87.00歳
7位	熊本県	80.50歳	6位	岡山県	87.00歳
9位	神奈川県	80.40歳	9位	三重県	86.90歳
9位	岐阜県	80.40歳	10位	宮城県	86.80歳
全国平均		79.90歳	10位	新潟県	86.80歳
			10位	石川県	86.80歳
			10位	山梨県	86.80歳
			全国平均		86.30歳

資料：東京大学大学院医学系研究科「日本の都道府県別の疾病負荷研究（1990～2015年）」

### 12. 健康寿命

東京大学大学院の研究では、滋賀県の健康寿命は、男性 73.00 歳、女性 77.50 歳で、男女ともに全国1位となっています。

図表 38 都道府県別健康寿命

順位	男性		順位	女性	
	都道府県	健康寿命		都道府県	健康寿命
1位	滋賀県	73.00歳	1位	滋賀県	77.50歳
2位	長野県	72.60歳	2位	長野県	77.10歳
3位	福井県	72.50歳	3位	福井県	77.00歳
4位	奈良県	72.30歳	3位	奈良県	77.00歳
5位	石川県	72.20歳	5位	京都府	76.90歳
5位	京都府	72.20歳	5位	岡山県	76.90歳
7位	神奈川県	72.00歳	7位	山梨県	76.80歳
8位	宮城県	71.90歳	7位	島根県	76.80歳
8位	東京都	71.90歳	7位	大分県	76.80歳
8位	三重県	71.90歳	10位	三重県	76.70歳
8位	熊本県	71.90歳	全国平均		76.30歳
全国平均		71.50歳			

資料：東京大学大学院医学系研究科「日本の都道府県別の疾病負荷研究（1990～2015年）」

### 13. ロケ誘致件数

滋賀ロケーションオフィスでは、毎年 150 件前後のロケ地に対する問い合わせ対応をはじめとしたロケ支援を行っています。そのうち、約 100 件前後が実際にロケを実施しており、積極的なロケ誘致を図っています。

図表 39 滋賀ロケーションオフィス ロケ支援件数推移

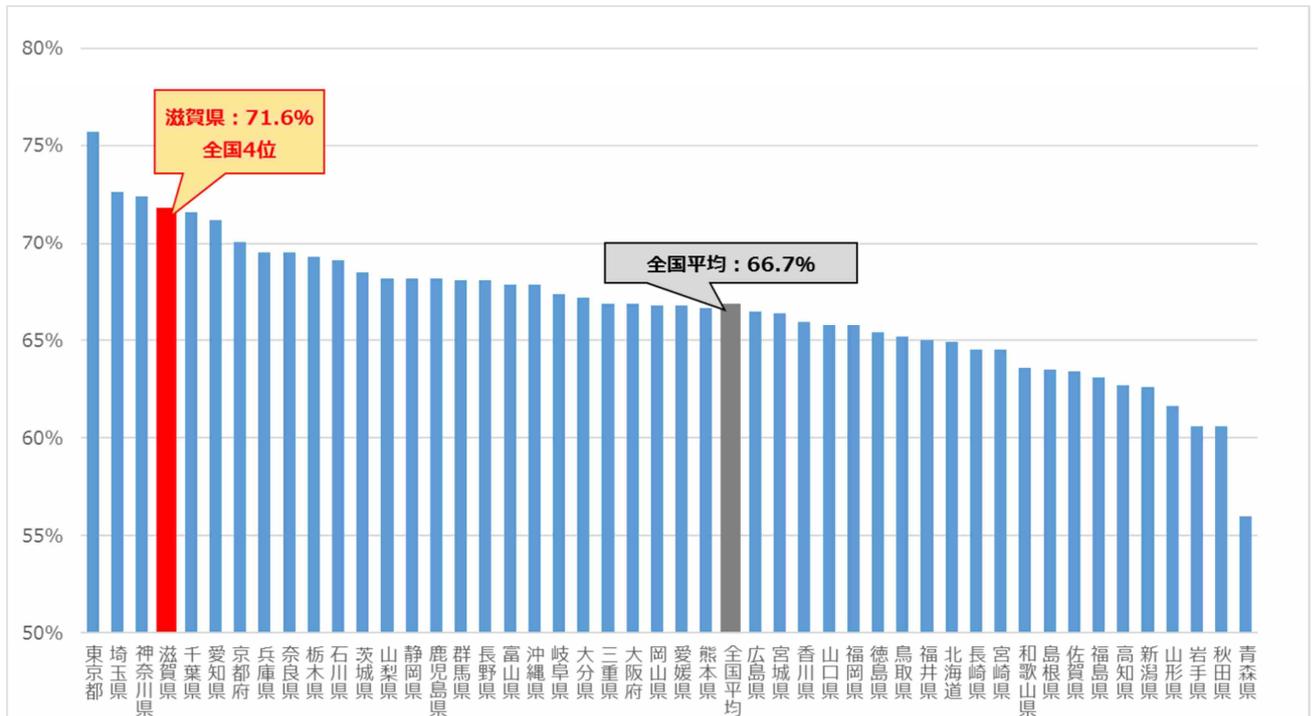
区分	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
	ロケ支援数	うちロケ実施本数								
映画	31	15	22	5	29	8	22	11	31	9
テレビドラマ	45	34	68	53	79	65	68	54	50	45
テレビ	33	28	27	21	35	21	31	17	29	20
CM等	34	12	47	23	44	23	59	29	58	29
計	143	89	164	102	187	117	180	111	168	103

資料：滋賀ロケーションオフィス「ロケ支援件数」

### 14. 都道府県別スポーツの年間行動者率

平成 28 年の滋賀県のスポーツの年間行動者率（10 歳以上）は 71.6%で、全国 4 位となっています。

図表 40 都道府県別スポーツの年間行動者率



資料：総務省「平成 28 年社会生活基本調査」

### 15. 都道府県別国際会議開催件数

日本国内で行われる国際会議は、東京都での開催が圧倒的に多く、近畿圏では京都府、大阪府、兵庫県での開催が多くなっています。一方、滋賀県内では、平成20年から平成25年では複数回開催されていますが、他府県と比較して決して多いとは言えません。

図表 41 都道府県別国際会議開催件数の推移

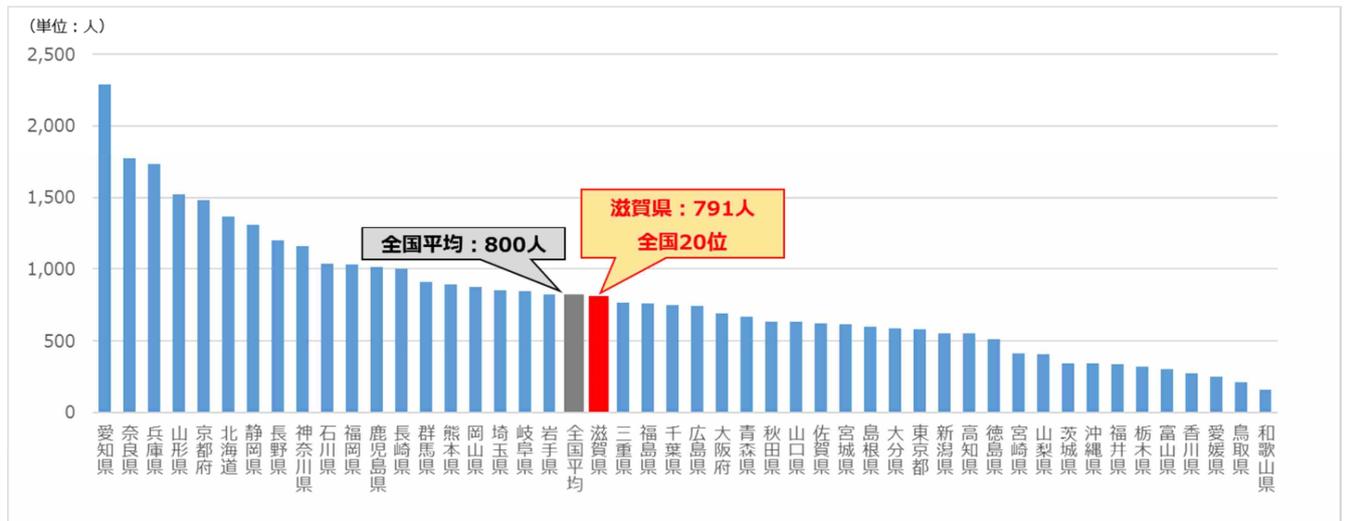
	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
東京都	462	445	486	505	510	484	517	537	565	583	593
<b>滋賀県</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>8</b>	<b>4</b>	<b>8</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
京都府	156	187	180	169	160	145	202	179	211	230	290
奈良県	19	26	31	20	36	24	37	34	48	36	45
和歌山県	0	1	2	1	1	0	3	6	2	1	0
大阪府	182	124	144	183	152	135	281	314	253	242	280
兵庫県	100	124	123	102	121	105	112	110	100	133	283

資料：日本政府観光局（JNTO）「国内都市別 国際会議開催件数 一覧表」

### 16. 観光ボランティアガイド数

平成29年の滋賀県の観光ボランティアガイド数は791人で、全国20位となっています。

図表 42 都道府県別観光ボランティアガイド数



資料：日本財団「平成29年度観光ボランティアガイド団体調査結果」

### 17. 「びわ湖 Free Wi-Fi」アクセスポイント設置数

滋賀県では、県内の無料 Wi-Fi「びわ湖 Free Wi-Fi」の普及を図っており、平成 30 年 6 月末現在の設置数は 945 アクセスポイントとなっています。

図表 43 「びわ湖 Free Wi-Fi」アクセスポイント設置数

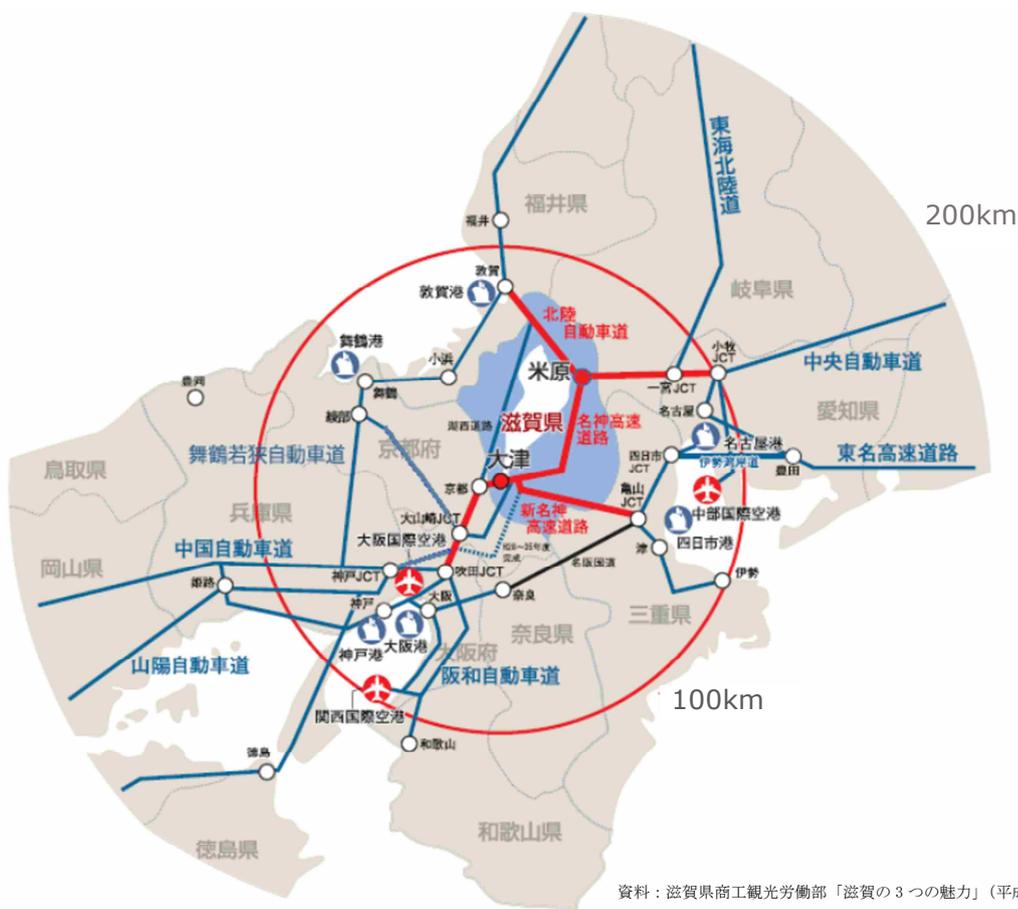
時点	アクセスポイント設置数
平成27年度末	488アクセスポイント
平成28年度末	677アクセスポイント
平成29年度末	802アクセスポイント
平成30年6月末	945アクセスポイント

資料：滋賀県無料 Wi-Fi 整備促進協議会より提供

### 18. 県外からの交通環境

滋賀県は、近畿・中部・北陸をつなぐ交通の要衝に位置し、東海道新幹線、名神高速道路、新名神高速道路および北陸自動車道といった広域交通ネットワークが充実しており、県外からの交通アクセスに恵まれています。また、関西国際空港や中部国際空港からも概ね 1 時間から 1 時間半の圏内にあり、国際観光においても非常に利便性の高い立地にあります。

図表 44 滋賀県と各都市を結ぶ高速道路網



資料：滋賀県商工観光労働部「滋賀の3つの魅力」（平成28年）

図表 45 新幹線・在来線の所要時間



資料：滋賀県商工観光労働部「滋賀の3つの魅力」（平成28年）

### 19. JNTO認定外国人観光案内所数

平成30年9月30日現在、滋賀県で何らかの方法で外国語対応が可能としてJNTO（日本政府観光局）に認定を受けている観光案内所の数は、19箇所となっています。

図表 46 JNTO認定外国人観光案内所数

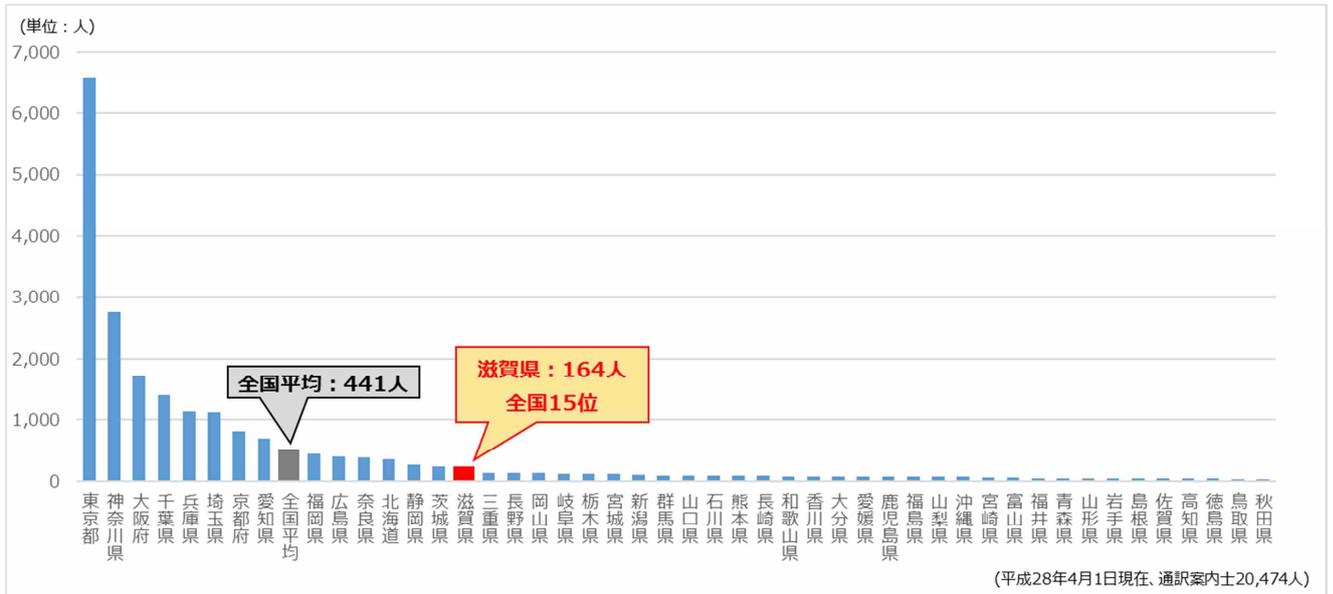
都道府県	箇所数	都道府県	箇所数	都道府県	箇所数	都道府県	箇所数
北海道	57	東京	92	<b>滋賀</b>	<b>19</b>	香川	13
青森	9	神奈川	24	京都	35	愛媛	13
岩手	17	山梨	19	大阪	36	高知	13
宮城	20	新潟	29	兵庫	22	福岡	29
秋田	10	富山	20	奈良	15	佐賀	11
山形	16	石川	24	和歌山	11	長崎	12
福島	15	長野	30	鳥取	6	熊本	17
茨城	11	福井	11	島根	10	大分	20
栃木	15	岐阜	26	岡山	15	宮崎	9
群馬	7	静岡	50	広島	31	鹿児島	11
埼玉	16	愛知	19	山口	13	沖縄	11
千葉	31	三重	17	徳島	7	合計	965

資料：「JNTO認定外国人観光案内所一覧」（平成30年9月30日現在）

## 20. 通訳案内士の数

平成28年4月1日現在の滋賀県の通訳案内士の数は164人で、全国15位となっています。

図表47 通訳案内士の数



資料：観光庁「通訳案内士制度の見直しについて」資料抜粋